

テノール歌手 渡邊公威氏(64 回生) の リサイタルのご案内

KOI WATANABE TENOR RECITAL

渡邊公威テノール リサイタル

CONSOLAZIONE 慰め

フランチェスコ・パオロ・トスティ生誕180年記念

2026/9/13 SUN

14:00START (13:30 OPEN)

銀座 王子ホール

¥5,000(一般)/¥3,500(学生) [全席指定]

夢

四月

バルブリーヌの歌

愛しいひとよ! 愛しいひとよ!

天使のセレナータ

入って来て(《天使のセレナータ》への返答)

そうであれば

漁夫は歌う

歌曲集《悲哀》(全5曲)

歌曲集《慰め》(全8曲)

[F.P.トスティ作曲]

渡邊 公威 (テノール)

河原 忠之 (ピアノ)

【チケット・お問い合わせ】

渡邊公威リサイタル実行委員会

MAIL: ticket.koiwatanabe@gmail.com



後援

日本トスティ協会



イタリア文化会館

東京鰯陵会(宮城県石巻高等学校東京同窓会)

公益財団法人「東京二期会」

国立音楽大学東京同調会

東京石中会(宮城県石巻市立石巻中学校首都圏同窓会)



渡邊 公威(テノール)

Koi WATANABE (Ten)

国立音楽大学卒業、同学院オペラ科修了。文化庁新進芸術家海外研修制度にてローマに留学。イタリアF.P.トスティ研究所特別研究員(歌曲)を経て帰国。エンリーコ・カルソー国際声楽コンクール、オルヴィエト国際声楽コンクール、Vissi d'arte国際声楽コンクール、日本声楽コンクール等、国内外の数々のコンクールに入賞。『ドン・ジョヴァンニ』『ドン・オッターヴィオ』『魔笛』『タミーノ』『皇帝ティートの慈悲』『ティート』『愛の妙薬』『ネモリーノ』『ランメルモールのルチア』『エドガルド』『ラ・ボエーム』『ロドルフォ』『リゴレット』『マントヴァ公爵』『秘密の結婚』『パオリーノ』『ボッペアの戴冠』『ネローネ』『カプリッチョ』『テノール歌手』『こうもり』『アイゼンシュタイン』『天国と地獄』『フルート等』で、二期会ははじめ多くのプロダクションでオペラに出演。コンサートでも『第九』『メサイア』『レクイエム』等でテノールソリストとして出演。近年は 東京二期会『エロディアド』公演(ミシェル・ブラッソン指揮)にてジャン役等で主演。山田正明、田口興輔、伊原直子、在原勝、N.Panni、S.Oliva、G.Ravazzi の各氏に師事。二期会オペラ研究所講師を歴任し、現在、国立音楽大学非常勤講師として後進の指導に当たる。トスティ歌曲コンクール“CANTIAMO”2025審査委員長。東京二期会会員。



河原 忠之(ピアノ)

Tadayuki KAWAHARA (Pf)

日本を代表する錚々たる歌手たちから共演者として抜群の信頼を得る、日本の“歌”を支える声楽伴奏のスペシャリスト。アルド・プロッティ氏の伴奏ピアニストを務めた経験から紡ぎだされる幅広い音色と、マリア・カルボネ女史のもとでイタリアで培った繊細な音楽表現には定評がある。2019年NHKニューイヤーオペラコンサートに出演した「太閤」男声オペラ歌手4人とのユニット、IL DEVU のピアノメンバー。指揮者としてブッチーニ「ラ・ボエーム」「ジャンニ・スキッキ」、ドニゼッティ「愛の妙薬」、モーツァルト「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「コジ・ファン・トゥッテ」「魔笛」、ヴェルディ「シモン・ボッカネグラ」「リゴレット」「こうもり」、ベルゴレージ「オリンピアデ」などで心に残る上演を牽引、プロデュサーとしても水戸芸術館「水戸 de Opera」、びわ湖ホール「ピ」シリーズなどを手掛けている。国立音楽大学卒業、同大学院修了。国立音大及び大学院教授、沖縄県立芸術大学非常勤講師、日本ヴェルディ協会理事、日伊声楽コンクール審査員。新国立劇場オペラ研修所でも音楽主任講師として長年後進の指導にあたってきた。



フランチェスコ・パオロ・トスティ / Francesco Paolo Tosti

トスティは、19世紀のヨーロッパが最も平和で繁栄した時代「ベル・エポック」の空気を色濃く作品に反映した作曲家であり、その後20世紀に入り出現したレスピーギ、ヴォルフ＝フェラーリ、ピッツェッティなどの作曲家をはじめとする、「イタリア近代歌曲」という分野の扉を開いた、イタリア・後期ロマン派の重要な作曲家の一人と考える。1846年、イタリア・アブルッツォ州キエーティ県オルトーナに生まれる。幼くしてヴァイオリンの神童として知られ、1858年、12歳にしてナポリ音楽院に入学、ヴァイオリンと作曲の研鑽を続ける。作曲をサヴェリオ・メルカダントらに師事。1866年、ヴァイオリンでディプロマ取得し、その時期から歌曲を作曲しはじめる。20代前半に健康を害したことからの、静養することも含めて故郷オルトーナに戻り、サン・トーマズ大聖堂でのオルガン奏者・指揮者の職に就いた。そこで書き溜めた小歌集が認められ、1875年頃より活動の中心をローマに移し、サロン用歌曲を多数発表する。やがてトスティはイタリア王室の声楽教師として招聘され、1880年頃よりロンドンに移住しイギリス王室においてヴィクトリア女王やその家族に歌を教えた。1906年には英国臣民(帰化)となり、1908年には準男爵に叙せられ、Sirの称号が与えられた。晩年、トスティは長年住み慣れたロンドンを離れ、1912年イタリアに帰国。1915年頃より狭心症に苦しめられながらも、少なくとも1916年12月ローマで没する直前の秋頃までは作曲していたと見られている。長いロンドン暮らしであったものの、英語は殆ど話すことはなかったとの説もあるが、母国語のイタリア語のみならず、英語やフランス語を原詩とする多くの歌曲の小品を作曲し、約400曲近い作品が出版された(オペラは生涯一曲も作曲することはない、作品のほぼ全ては歌曲であった)。中でも、17歳年下で同じアブルッツォ州出身の詩人、作家、政治家であるガブリエーレ・ダンヌンツィオとの共作においては、歌曲集《アマランタの四つの歌》など、死の直前まで芸術性において優れた作品を数多く残している。



【会場へのアクセス】

- JR 有楽町駅下車、銀座口から徒歩7分
- 地下鉄 銀座駅下車、A12出口から徒歩1分
- 地下鉄 銀座一丁目駅下車、8出口より徒歩5分 (※9出口は2026年12月まで閉鎖中)
- 地下鉄 東銀座駅下車、A2出口から徒歩3分
- ★東銀座駅、銀座駅の双方から利用可、N1出口、N2出口から徒歩1分

銀座 王子ホール Oji Hall
東京都中央区銀座4-7-5